



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社スワン

5



宅急便創業者が創った パン屋のチェーン

10

東京赤坂からまもなくの溜池山王付近は道幅が広く、街路樹も植えられていて、気持ちのいい散歩ができるエリアである。時折ジョギングするランナーが走り過ぎる外堀通り沿いに、そのカフェはあった。特許庁ビルの目の前にある日本財団ビル1階にあるその店には、入り口脇のテラスに落ち着いた色合いの木製の椅子が置かれ、忙しいビジネス街にあって空気の流れが少しゆるやかに感じられるようだ。

15

陽光が差し込むガラス張りの明るい店内を覗くと、一人客用のカウンター席と数名で囲めるテーブルがいくつか配置されている。店内に入ってすぐ目に入る商品棚には、焼きたてのパンが並べられている。30種類はあろうか、食パンやクロワッサン、餡パンなどの定番品に加えて、ソーセージやチーズが入った総菜パン、そしてベーグルなどもある。どれも焼きたてのいい香りがする。それぞれのパンにはひとつ100円から300円ほどの値札がついていて、コンビニのパンよりはやや価格が高い。男性客なら昼食として、パン2～3個とコーヒーで700円から1,000円程度の出費となる。

20

25

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール教授・山根 節の指導のもとで、MBA 尾藤 太郎 (M32) が公表資料および取材によって、クラス討議の資料とするために作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 尾藤 太郎・山根 節 (2011年3月)